

MAX

取扱説明書

プロ用

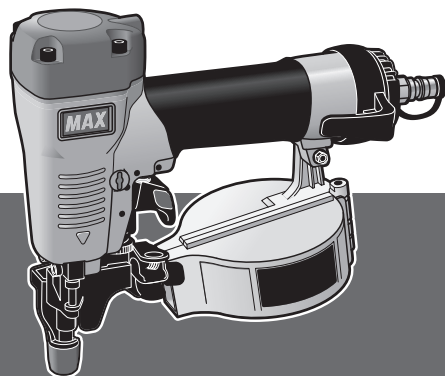
このたびは、マックス釘打機コイルネイラをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本機の取扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

警告

- 使用前に必ず取扱説明書を読む。
- 使用の際は、作業者及びまわりの人も必ず保護メガネを着用する。
- 安全装置が完全に作動するか使用前に必ず点検する。
正常に作動しない場合は使用しない。
- 打つ時以外は絶対にトリガに指をかけない。
- 射出口を絶対に人体に向けない。

この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管してください。

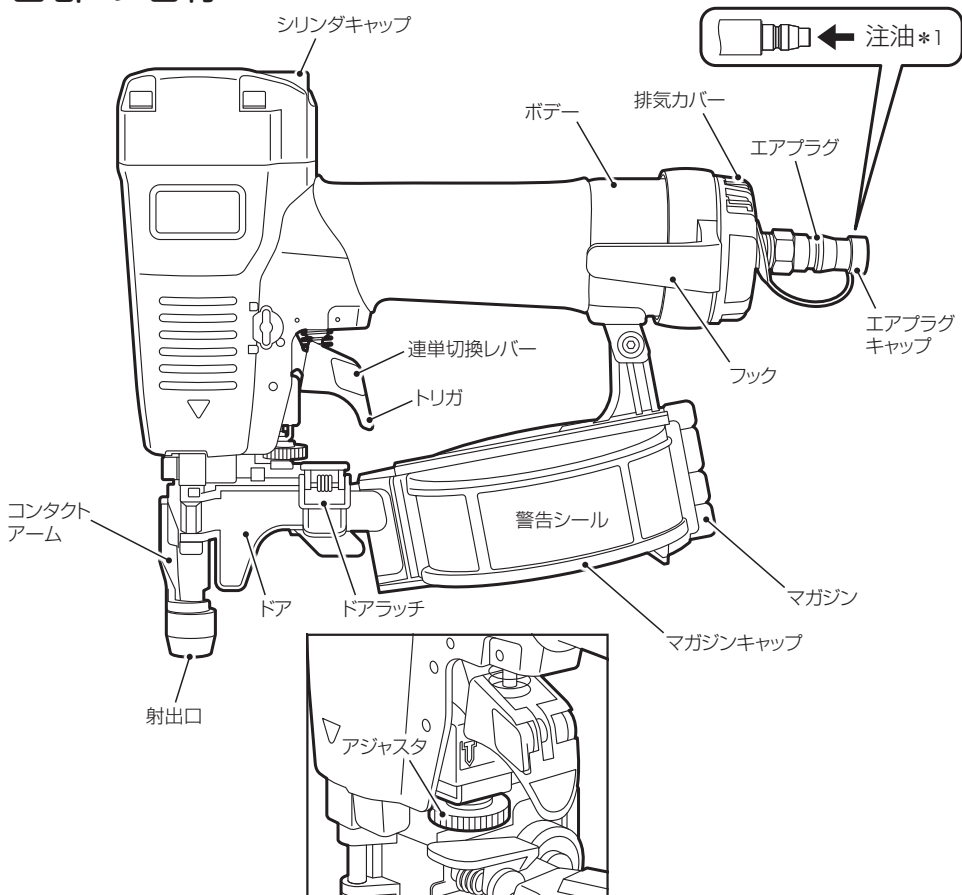
マックス釘打機コイルネイラ
CN-332M1



目 次

各部の名称	3
安全作業のために	4~9
安全装置について	10~12
仕様及び付属品	13
使用方法	14~20
ネイルの装填方法	14,15
打ち方	16,17
プラスチック連結帯の切り方	18
フックの方向の変え方	18
排気方向の変え方	18
各種コンタクトトップの使い方	19,20
配管についての注意	21
エアホースの接続	22
アジャスタの調整と打込状態の確認	23
ネイルづまりの直し方	24
保守・点検	25,26
保証、アフターサービスについて	26
保証について	26
アフターサービスについて	26

各部の名称



*1 注油



注意

指定オイルを注油する



マックス指定
オイル
(別売品)

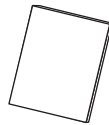
付属品



保護メガネ



キャリングケース



取扱説明書

コンタクトトップ



山打ち用



谷打ち用



加工用



ジェットオイル
(油入)

※ふたを外して先端を
はさみやカッター等
で切ってください。

※出荷時キャリングケース内に収納されています。

⚠ 安全作業のために

本機は、木材またはそれに類した材料、石膏ボード、金属サイディング、波形トタン等を木材に止めることを目的とした釘打機です。指定以外の用途、使用方法は重大な事故につながる恐れがあります。この取扱説明書の記載事項を厳守してください。作業関係者以外、特に子供は作業場所に近づけないでください。また、本機に触らせないでください。

■ 表示の意味について

ご使用上の注意事項は、**⚠ 警告**、**⚠ 注意** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。



警告

誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



注意

誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、**⚠ 注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

絵表示について



禁止

この記号は「してはいけないこと」を意味しています。
この記号の中や近くが表示は具体的な禁止内容です。

⚠ 安全作業のために

作業前

⚠ 警告

使用の際は、作業者およびまわりの方も必ず保護メガネを着用する。

釘打作業をする時、ネイルを連結しているワイヤが飛んだり、打ち損じのネイルがはね返り、眼に入ると失明するおそれがあります。作業する本人はもとよりまわりの方も必ず保護メガネを着用してください。



防音保護具を着用する。

釘打作業をする時、排気音や排気エアから耳を守るため、作業環境に応じて防音保護具（耳栓等）を着用してください。



作業環境に応じた防具を着用する。

作業環境に応じてヘルメット、安全靴等の防具を着用してください。



エアコンプレッサ以外の動力源は絶対に使用しない。

本機はエアコンプレッサによる圧縮空気を動力源とする工具です。圧縮空気以外の高圧ガス（例：酸素、アセチレン等）を使うと異常燃焼をおこし爆発の危険を伴いますので、エアコンプレッサ以外は絶対に使用しないでください。

本機を絶対に改造・分解しない。

本機を改造・分解すると、本来の性能が発揮できないばかりでなく安全性が損なわれますので、絶対に行わないでください。

エアホースを接続するときは誤って作動させないように下記のことを厳守する。

- ・コンタクトアームに触れない。
- ・コンタクトアームを押し上げた状態にしない。
- ・射出口を人体に向けない。

指定ネイルを必ず使用する。

指定されたネイルと異なるものを使用すると本機の故障や事故の原因となります。（使用ネイルは13ページ参照）

作業場所を常に整理する。

作業場所が乱雑だと、つまづくなどして思わぬ事故の原因となります。作業場所は常に整理整頓をして安定した姿勢で作業を行ってください。

⚠ 安全作業のために

作業中

⚠ 警告

使用空気圧を必ず守る。

本機の使用空気圧範囲は0.55～0.8MPa (約5.5～8kgf/cm²) です。対象物によりその範囲内で調整し使用してください。0.8MPa (約8kgf/cm²) を超えた圧力で使用すると本機の寿命を早めたり損傷によって危険が生じる恐れがあります。

ネイルを打つ時以外は絶対にトリガに指をかけない。

トリガに指をかけたまま本機を取り回し、誤って発射した場合は思いがけない事故につながります。

射出口を絶対に人体に向けない。

射出口を人に向け、誤って発射した場合には思いがけない事故につながります。

また、射出口付近に手足等を近づけての作業は危険ですから絶対に行わないでください。

同時に打ち損じたネイルが人に当たらないよう作業中はまわりの人に注意をはらってください。



向い合わせの釘打ちは絶対にしない。

向い合って釘打作業をすると、打ち損じたネイルが前の作業者にあたり、思わぬ怪我をすることがあります。



射出口を確実に対象物に当てる。

射出口を確実に対象物に当てないと、ネイルがはねたり、それたりして大変危険です。また、本機が強く反発することもあり危険です。

機体の反発に注意する。

硬い所に打った場合、機体がはね返ることがあるため、顔を近づけないでください。

揮発性可燃物のそばで絶対に使用しない。

本機やエアコンプレッサを揮発性可燃物 (例：シンナー、ガソリン等) のそばで使うとネイル打込時の火花による引火や、空気といっしょに吸入圧縮され、爆発の危険を伴います。

⚠ 安全作業のために

⚠ 警告

移動するとき、作業を中断するとき、また、フック使用時は、必ずエアホースをははずす。

エアホースを接続した状態でトリガを引いたまま本機を持ち歩いたり、手渡し等をし、誤って発射した場合には、思いがけない事故につながります。また、作業中のネイル装填、調整及びネイルづまりを直すとき、誤ってネイルを発射するおそれがあり、危険です。

落下やそれに類する衝撃を機械本体に与えた場合、安全装置等が正常に作動する事を確認してから作業を再開する(10ページ参照)。

異常を感じたら絶対に使用しない。

作業中に本機の調子が悪かったり、異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理をなさらずに、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス㈱にお買い求めの販売店を通じて、お申し付けください。

次のときは、本機を使用しない。 事故の原因になります。

- ・ 疲れているとき、身体が不調なとき。
- ・ 酒類や薬物を飲んで正常な動作ができないとき。

用途にあった作業に使用する。

本機は木材または類似の材料への釘打ち作業を目的とした工具です。指定された用途以外には使用しないでください。

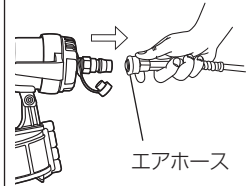
子供を近づけない。

作業員以外、釘打機やエアホースに触れさせないでください。作業員以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。

作業する箇所に、内部配線やガス管など埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。

移動するとき
作業を中断するとき

❗ エアホースを外す



⚠ 安全作業のために

作業後

⚠ 警告

作業終了時には必ずエアホースをはずす。

作業終了時には必ずネイルを抜き取る。

ネイルをマガジン内に残しておくと、次に使用するときうっかり手を触れたり、誤って作動させた場合、思わぬ事故につながる可能性があります。

釘打機は注意深く手入れをする。

安全に能率よく作業していただくために、釘打機は常に手入れをし、清潔に保ってください（25ページ参照）。付属品のお手入れは、取扱説明書に従ってください。

使用しない場合はきちんと保管する。

乾燥した場所で、子供の手の届かない高いところ、または鍵のかかるところに保管してください。

⚠ 安全作業のために

屋外作業について

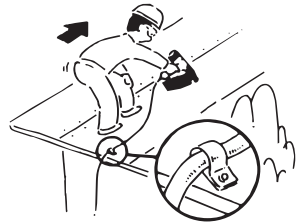
⚠ 警告

足場の安全性を十分に確認する。

足場を使っての高所作業の場合、釘打作業中に落ちることのないように充分足場の安全性を確認してください。

エアホースの確保。

高所作業の場合、エアホースは作業場所の近くに必ず固定箇所を作ってください。これは不用意にホースが引っぱられたり、引っかかったりしたときの危険を防ぐためです。また、ホースのたるみやねじれのないように注意してください。



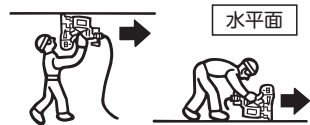
直射日光をさける。

本機やエアセット、エアコンプレッサは直射日光に長時間あてたまま放置しないでください。また、エアコンプレッサはできるだけ日陰に設置して使用してください。

打ち方

水平面の釘打ち

前進姿勢で釘打作業を行ってください。安全で疲労が少なく、正確で速い作業ができます。後退しながらの作業は足をとられるなど危険です。



垂直面の釘打ち

本機を手の届く最も高いところまで差し上げ、上から順に下へ釘打作業を行ってください。



傾斜面の釘打ち

下から上に向かって前進姿勢で釘打作業を行ってください。上から下に後退すると足を踏みはず危険があります。



⚠ 安全装置について

釘打作業の安全を確保するため、本機には次のような安全装置がついています。

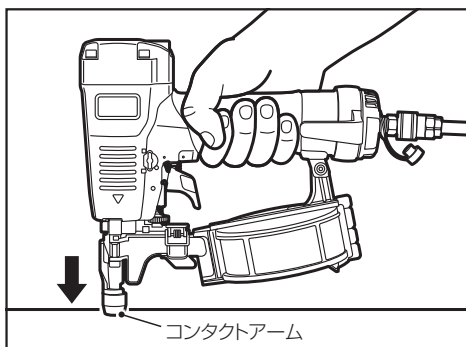
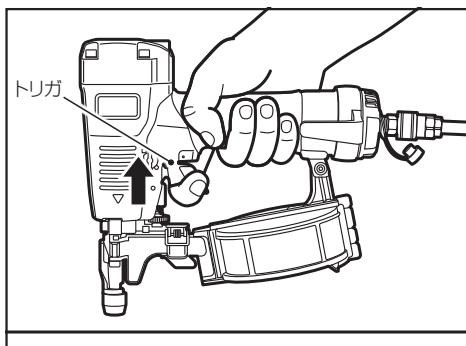
●メカニカル安全装置

これはコンタクトアームとトリガが同時に作動しないと発射しないメカニズムです。

つまり、

- ①トリガを引いただけではネイルは発射しません。
- ②コンタクトアームを打込対象物にあてただけでもネイルは発射しません。

トリガを引くという動作とコンタクトアームを対象物にあてる動作が重なって始めてネイルは発射されます。



⚠ 安全装置について

点検により異常が発見された場合、ただちに使用を中止してください。

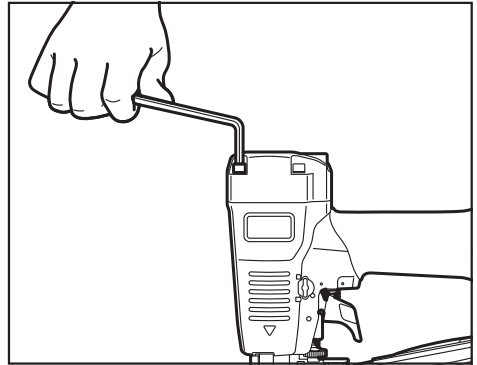
修理の際は決してご自分で修理をなさらずに、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス株式会社にお買い求めの販売店を通じて、お申し付けください。

使用前に安全装置が完全に作動するか必ず確認してください。

1. エアホース接続前の点検

エアホースを接続する前に下記の点検を必ず行ってください。

- ボルトの締め付けが緩んでいたり、抜けていないか。
- 各部部品が外れていたり、傷んでいないか。
- コンタクトアームがスムーズに動くか。



不完全なまま使うと、事故や破損の原因となりますので絶対に使用しないでください。

2. エアホース接続時の点検

エアホース接続時には必ず確認する。

使用前にはネイルを装填しないでエアホースを本機に接続し下記の確認を必ず行ってください。

- エアホースを接続しただけで作動音がしないか。
- エアもれや異常音がしないか。

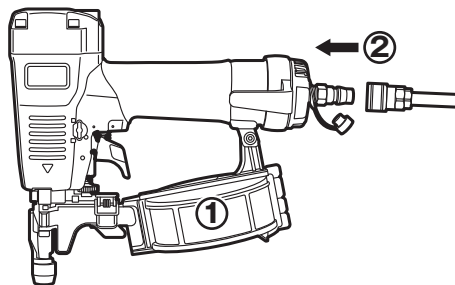
エアホースを接続しただけで作動したり、エアもれや異常音がする場合は故障しています。そのまま使うと事故や破損の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

⚠ 安全装置について

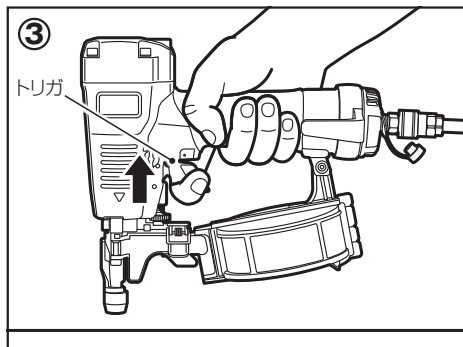
3. 安全装置の点検

ネイルを打つ作業に入る前に安全装置に異常がないかを下記の手順で確認してください。

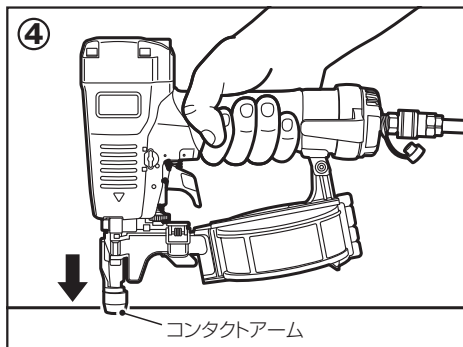
- ①作業に入る前に本機にネイルが装填されていないことを確認してください。
- ②本機にエアホースを接続します。



- ③まず、トリガだけ引いてください。



- ④次にトリガから指を離し、コンタクトアームを材料に押しあててください。



このとき、本機が作動する場合は安全装置が異常です。

そのまま使うと、事故や破損の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

仕様及び付属品

商 品 名	マックス釘打機コイルネイラ
商 品 記 号	CN-332M1
寸 法	(H)212 × (W)98 × (L)261 mm
質 量	1.1kg
ネ イ ル 装 填 数	189本(1巻)
使用空気圧範囲	0.55~0.8MPa(約5.5~8kgf/cm ²)
使用エアホース	内径7mm以上、長さ30m以内
使用オイル	タービン油2種ISO VG32 (JIS K 2213)
安全装置	メカニカル方式
付 属 品	キャリングケース、保護メガネ、ジェットオイル(油入)、コンタクトトップB(谷打ち用)、コンタクトトップC(山打ち用)、コンタクトトップD(加工用)

〈使用ネイル〉

連 結 方 法	直プラシート連結		
連 結 本 数	189本連結		
分 類	足長さ(mm)	商品名	
ステンレス リング釘	25	BRP25T3-S	
		32	BRP32T3-S
	カラー 釘	25	BRP25T3-Sカラー ※
		32	BRP32T3-Sカラー ※
	丸頭	25	BRP25T3-S(OH)
		32	BRP32T3-S(OH)
メッキリング釘	25	BRP25T3メッキ	
	32	BRP32T3メッキ	

※カラーは、レッドブラウン、ツヤケシクロ、シンチャ、モスグリーン、ギングロ、グレー、サンドホワイト、シルバーブラウン、ライトベージュ、アイボリーホワイト、シルバー、ホワイト、クリチャ、ダークブルー、ブラックパール、ゴールド、ウグイス、アイボリー、ベージュがあります。

※BRP25T3-S(OH)、BRP32T3-S(OH)は、打込対象物の種類によって、釘頭が倒れる場合があります。

BRP25T3-S(OH)、BRP32T3-S(OH)を使用する場合は、試し打ちを行い、打込み状態を確認してから使用してください。



警告

●指定ネイルを必ず使用する。

指定されたネイルと異なるものを使用すると本機の故障や事故の原因となります。

使用方法

ネイルの装填方法

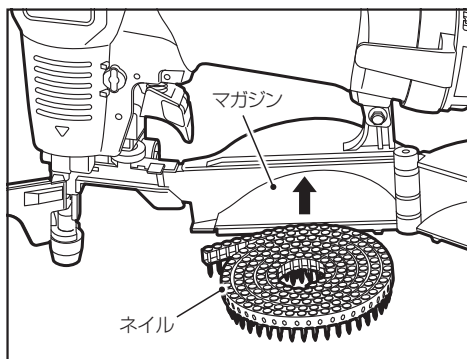
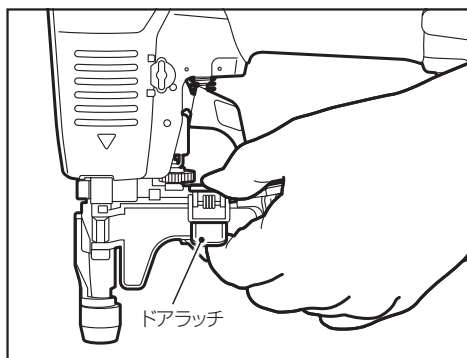


警告

- ネイルを装填する時は、エアホースをはずす。

手順

- ①エアホースをはずします。
- ②ドアとドアラッチに指をかけてドアラッチを下へ押し付けながら左へ開きます。
- ③マガジンキャップを右へ軽く回して開きます。
- ④ネイルをマガジン内に図のように入れます。

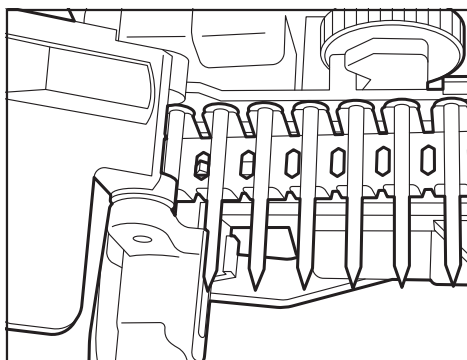
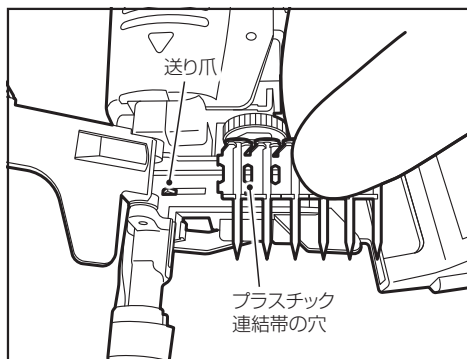


ネイルの装填方法(つづき)

- ⑤ ネイルを引き出し、プラスチック連結帯の穴を送り爪にセットします。

⚠ 注意

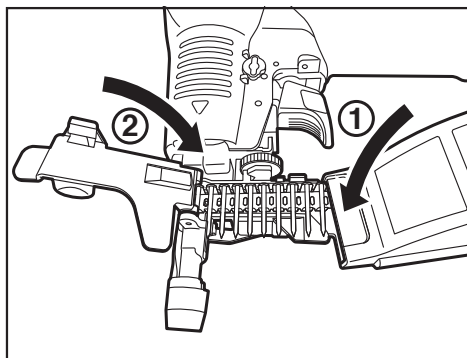
- 次のような場合にはドアがうまく閉じないことや、ネイルが正常に送られずに空打ち、ネイルづまりなどが起きることがあるので、修正してから所定の位置に装填してください。
- ・ ネイルやプラスチック連結帯が所定の位置に入っていない場合。
- ・ プラスチック連結帯からネイルがはずれている場合。



- ⑥ マガジンキャップを閉じます。(①)
ドアラッチをつまみながらドアを完全に閉じます。(②)

⚠ 注意

- ドアラッチが確実にかかっているか確認してください。不完全な状態だとドアが開くおそれがあります。



打ち方(連単切換レバーの使い方)

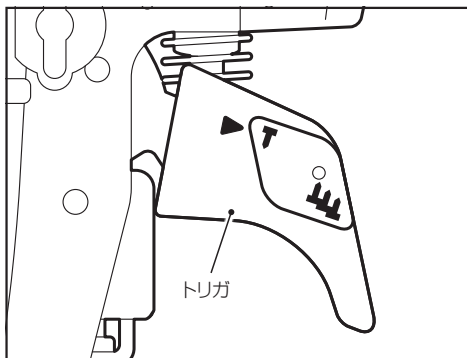
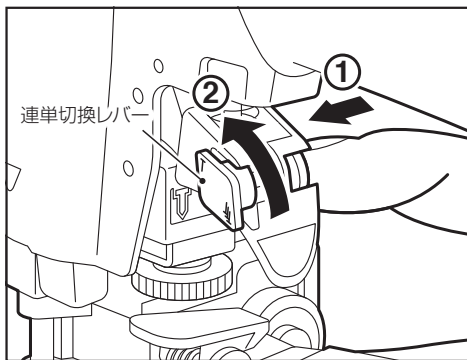
本機は釘打作業の内容によって効果的な使い方ができるように連単切換機構を装備しています。

単発打ちの操作方法

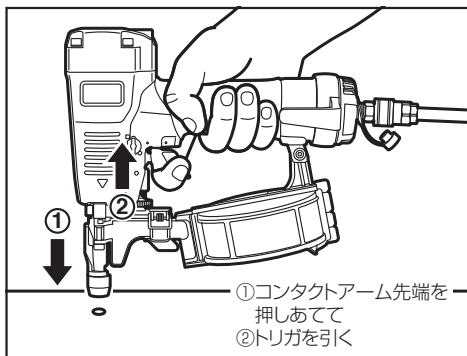
単発打ちとは、コンタクトアーム先端を打込対象物に押し当ててからトリガを引く操作でネイルを1本しか打たない打ち方です。主に波形トタン打ちや石膏ボード打ちなど、ネイル頭を面いちに合わせたり、仕上げを重視する釘打作業に適しています。

手順

- ① 連単切換レバーを押し(①) 回し(②)、トリガの「▶」と連単切換レバーの「▽」を合わせて確実にセットしてください。



- ② ネイルを打とうとする箇所にコンタクトアーム先端をしっかりと押し当てたままトリガを完全に引いてください。



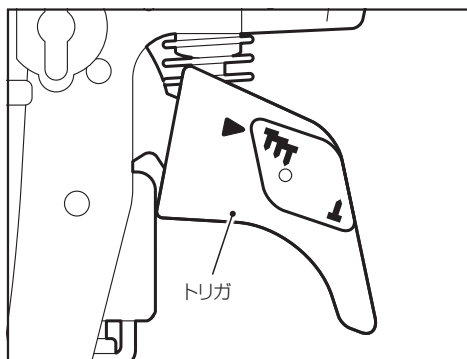
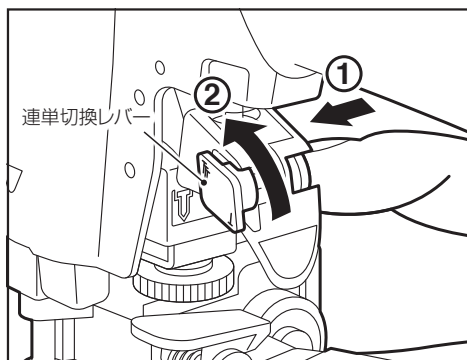
連続打ちの操作方法

連続打ちとは、トリガを引いたまま打込対象物にコンタクトアーム先端を打ち当てる操作をくり返すことで連続的に釘打作業ができる打ち方です。

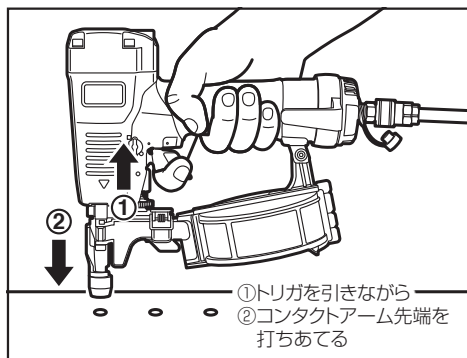
主に床・壁・屋根などの下地打ちのときに適しています。

手順

- ① 連単切換レバーを押し(①) 回し(②)、トリガの「▶」と連単切換レバーの「▶」を合わせて確実にセットしてください。

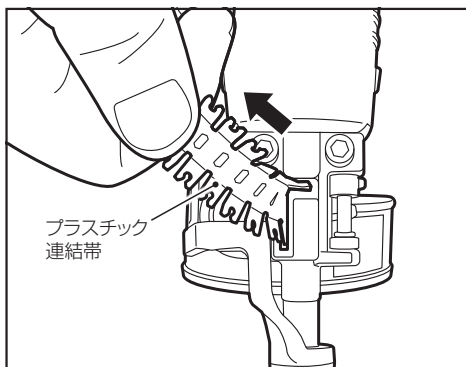


- ② トリガを引いたままネイルを打とうとする箇所にコンタクトアーム先端を打ち当てます。この操作を繰り返すことで連続打ち作業ができます。



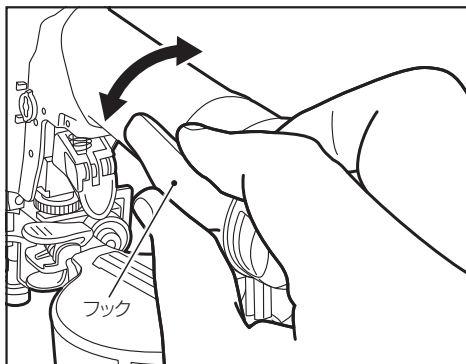
プラスチック連結帯の切り方

プラスチック連結帯を打つと、ノーズよりネイルのプラスチック連結帯がでてきます。エアホースをはずし、➡の方向に引きちぎってください。



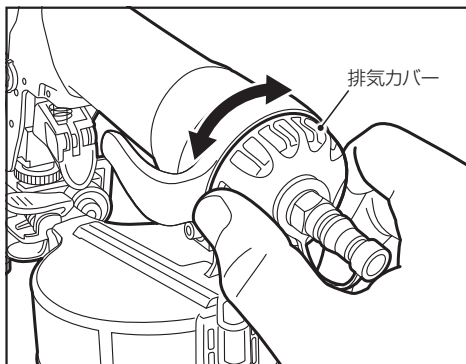
フックの方向の変え方

フックは向きを変えることができます。フックの向きを変えるときは、矢印↔の方向に回してください。



排気方向の変え方

排気方向を変えることができます。排気カバーを変えるときは、排気カバーを矢印↔の方向に回してください。







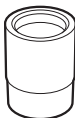


各種コンタクトトップの使い方

本機には用途に応じて4種のコンタクトトップが用意してあります。

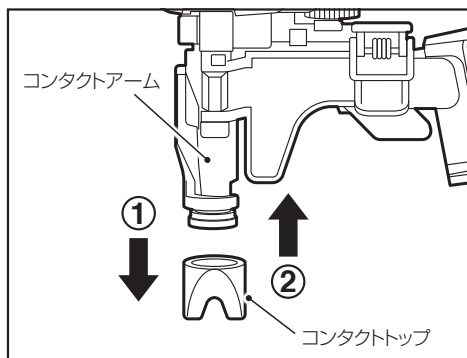
⚠ 警告

●各種コンタクトトップ着脱の際は、必ずエアホースをはずす。

名称	用途	形状	使用方法	備考
コンタクトトップA	平打ち			装備品
コンタクトトップB	谷打ち			付属品
コンタクトトップC	山打ち			付属品
コンタクトトップD	加工用		P20参照	付属品

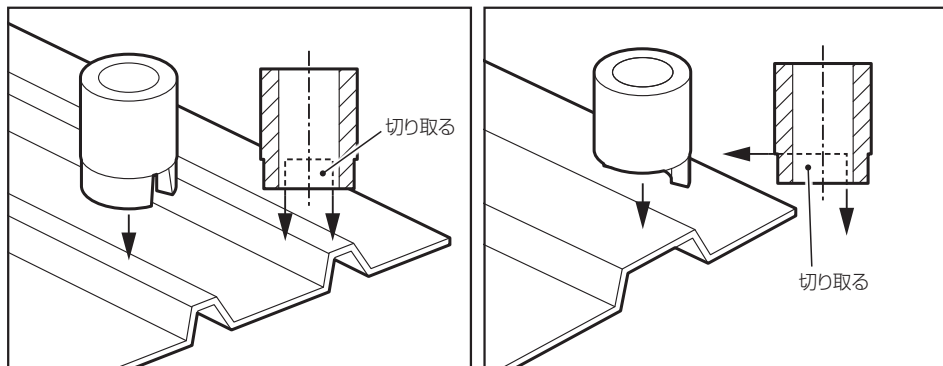
●コンタクトトップの交換方法

- ①コンタクトトップをコンタクトアームから引き抜いて取り外してください。(①)
※取り外しにくい場合は、マイナスドライバー等でこじりながら取り外してください。
- ②用途に合ったコンタクトトップをコンタクトアームに取り付けてください。(②)
※コンタクトトップは奥まで確実にはめてください。



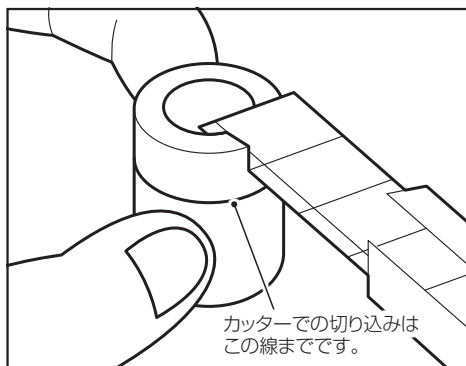
●コンタクトトップDの使用方法

板金の角波等の形状に合わせてカッター等で切り込んで使用していただくコンタクトトップです。



作り方

- ① 細いマジックなどで切り取り線を入れます。
- ② カッター等で切り取り線に沿って注意深く切り込みを入れ、切り取ります。コンタクトトップはコンタクトアームに押し込むだけで取付けられます。取外すときはマイナスドライバー等でこじってください。

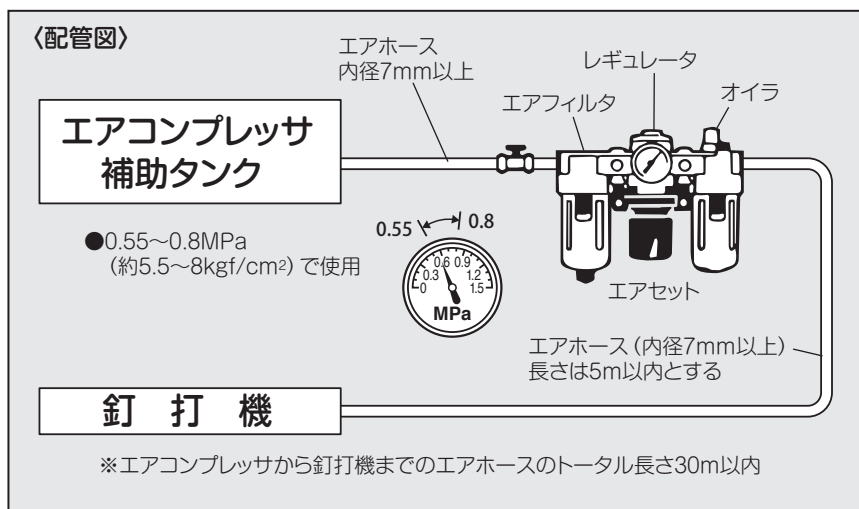


配管についての注意

警告

●エアコンプレッサ以外の動力源は絶対に使用しない。

- 動力源は必ずマックス専用エアコンプレッサを使用してください。
高圧ガス（例：酸素、アセチレン等）等は絶対に使わないでください。
- エアセットはできるだけ本機1台に1セット取付けるようにしてください。
- エアホースは内径7mm以上、長さ30m以内で使用してください。
エアセット使用時は、エアセットから釘打機までのエアホースを内径7mm以上、長さ5m以内で使用してください。



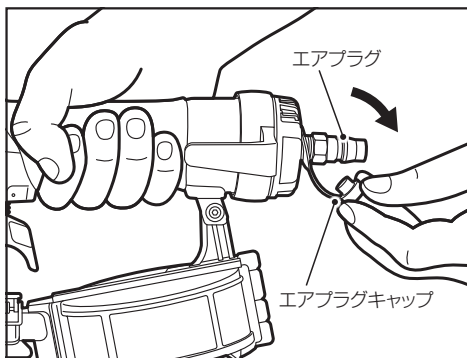
エアホースの接続

⚠ 警告

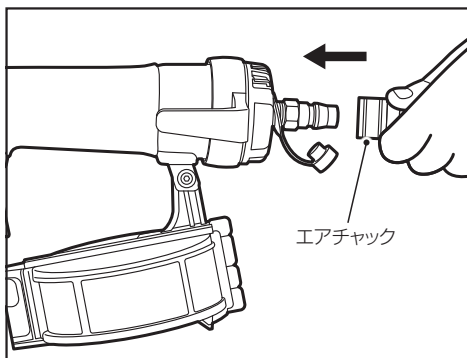
- エアホースを接続する時は誤って作動させないように下記のことを厳守する。
 - トリガに触れない。
 - コンタクトアームに触れない。
 - コンタクトアームを押し上げた状態にしない。
 - 射出口を人体に向けない。

手順

- ①エアプラグからエアプラグキャップをはずします。



- ②エアプラグにエアホースのエアチャックを接続します。



アジャスタの調整と打込状態の確認

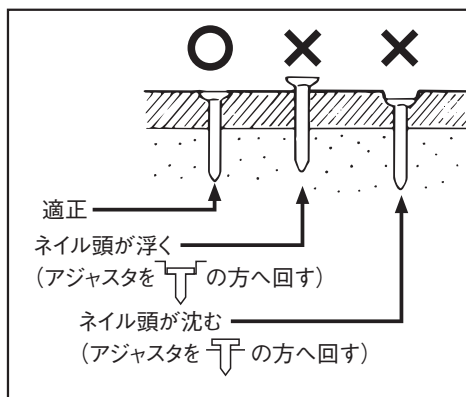
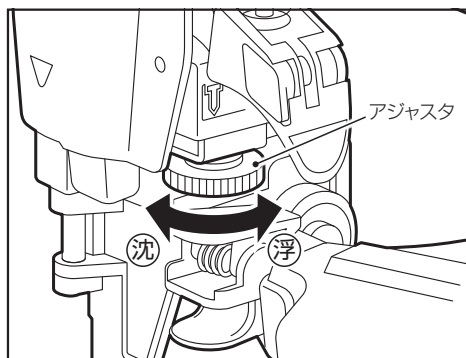
本機には打込深さを調整できるアジャスタが装備されています。打込みすぎは極端に保持力が低下しますので作業の際には打込状態を確認して、アジャスタで深さを調整してください。

警告

- 調整するときは必ずエアホースをはずす。
- 調整するときは、射出口を下に向け、顔や手、足などの人体がないことを確認する。
- 0.8MPa (約8kgf/cm²) を超えた圧力では絶対に使用しない。

手順

- 1 エアホースをはずします。
- 2 ネイルを装填します。
- 3 エアコンプレッサの圧力を0.6MPa (約6kgf/cm²) にセットします。
- 4 本機にエアホースを接続します。
- 5 アジャスタの調整 (ネイルの打込調整) の前に一度テスト打ちしてください。打込みたい深さを確認します。
- 6 エアホースをはずします。
- 7 ネイルを取り出します。
- 8 アジャスタを回し調整します。
※アジャスタを1回転させると約0.8mm 上下します。
- 9 本機にネイルを装填します。
- 10 エアホースを接続し、さらにテスト打ちをして適正かどうか確認してください。
- 11 適正であれば調整完了です。不適正であれば以上の手順をくり返してください。
- 12 適正状態が得られない場合はエアコンプレッサの空気圧を調整してください。



注意

- 打込対象物が硬い場合や、使用空気圧が低いと、適正な打込み状態を得られない場合 (ネイル頭浮き等) があります。

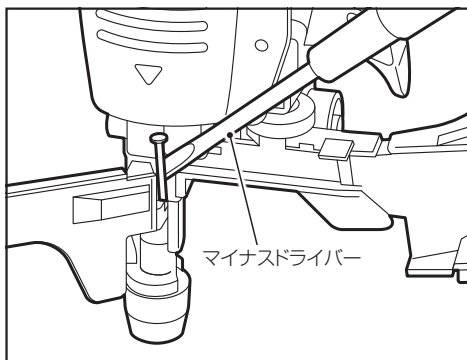
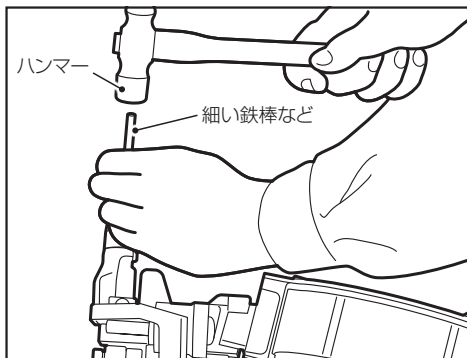
ネイルづまりの直し方

⚠ 警告

- ネイルづまりを直す時は、必ずエアホースをはずす。

手順

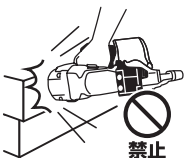
- ①エアホースをはずします。
- ②ネイルをマガジン内より抜き取ります。
- ③ドアを開き、射出口より細い鉄棒を入れ、ハンマーでたたか、マイナスドライバーで取り除きます。
- ④ネイルを送り爪に再度確実にセットして、ドアを閉じます。



保守・点検

本機を大切に使う

落したり、ぶつかけたり、叩いたりしますと、変形、亀裂や破損を生じる場合があります。危険ですから絶対に落したり、ぶつかけたり、叩いたりしないでください。



繰り返しカラ打ちをしない

ネイルを装填しないでカラ打ちをくり返し行うと各部の耐久性が低下しますのでさけてください。

エア圧力を調整し、使用する

打込対象物に合わせ必ず空気圧を調整し、使用してください。
対象物に対して空気圧が高すぎるまま使用しますと各部の耐久性が低下しますのでさけてください。

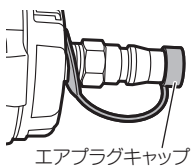
指定オイルを注油する

オイルはタービン油2種 ISO VG32 (JIS K 2213) を必ずお使いください。使用前、使用後にエアプラグの口より2~3滴注油してください。指定外のオイルを使用しますと、能力低下や故障の原因となります。



エアプラグキャップの使用方法

本機を使用しないときには、機械内部にゴミなど入ると故障の原因となりますので、本機を使用しないときはエアプラグにキャップを装着してください。



エアプラグキャップ

エアコンプレッサのタンク、補助タンクの水抜きをする

エアコンプレッサのタンク、補助タンクに水がたまると能力低下や故障の原因となりますので定期的に水抜きをしてください。

定期的に清掃する

本機の性能を維持するために清掃を定期的に行ってください。点検はお買い求めの販売店又はマックスエンジニアリングサービス㈱にお申しつけください。

清掃方法

- ・砂やゴミがついたらエアダスタで飛ばしてください。
- ・トリガの裏もエアダスタで飛ばしてください。
- ・布できれいに拭いてください。

射出口(コンタクトアーム)の点検

エアホースを外した状態で射出口(コンタクトアーム)がスムーズに動かか確認してください。射出口(コンタクトアーム)の可動部は掃除し、ときどき付属の油を注油してください。油を注ぐことにより、スムーズに動作すると同時にさび止めにもなります。

ピストンOリングの点検

ピストンOリングは、消耗品です。ドライバがズルズルと落ちてきたら、お買い求めの販売店、又はマックスエンジニアリングサービス㈱にお申しつけください。

カラ打ち時の確認

作業中に本機は作動するがネイルが実際に打ち込まれない場合には、下記の事を点検してください。

- ①ネイルが送り爪にきちんとセットされているか。
 - ②コンプレッサの圧力が適正值にセットされているか。
 - ③ネイルがマガジン内でからまっていないか。
- 上記①②③を確認してもカラ打ちが直らない場合には、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリングサービス㈱にお買い求めの販売店を通じて、お申し付けください。

保守・点検（つづき）

作業後の保管

※作業後はネイルを全部抜き取ってください。

※エアプラグにエアプラグキャップをさし込むときは、機体をさかさにして十分水抜きしてからさし込んでください。

- 作業後は、機体の内部にごみやほこりが入らないよう、エアプラグキャップをエアプラグにさし込み、ケースに入れて保管してください。
- 長期間使用しない場合は、さび防止のため、エアプラグから給油し、2,3回空打ちして油を内部に行き渡らせてください。
- 鉄の部分やバルブの部分には油をうすく塗布してください。
- 油は、付属の油をご使用ください。
- お子様の手の届かない、乾燥した場所に保管してください。

保証、アフターサービスについて

保証について

- 本機には保証書（梱包箱に添付）がついています。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 本機の基本保証期間はご購入日より1年間です。
「お客様登録カード」にて登録手続きしていただいたお客様に限り、保証期間が2年間となります。

アフターサービスについて

- 本機の調子が悪いときは、使用を中止して、ご購入求めの販売店又はマックスエンジニアリングサービス㈱にご相談ください。
 - 保証期間中の修理は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
 - 保証期間経過後の修理は、修理によって機能が維持できる場合に、ご要望により有償修理させていただきます。
- ※本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

マックス株式会社

●販売拠点等

本社	〒103-8502	東京都中央区日本橋箱崎町6-6	TEL (03) 3669-8121
札幌支店	〒060-0041	北海道札幌市中央区大通東6-12-8	TEL (011) 261-7141
仙台支店	〒984-0002	宮城県仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL (022) 236-4121
盛岡営業所	〒020-0824	岩手県盛岡市東安庭2-10-3	TEL (019) 621-3541
東京支店	〒103-8502	東京都中央区日本橋箱崎町6-6	TEL (03) 3669-8101
多摩営業所	〒190-0022	東京都立川市錦町5-17-19	TEL (042) 528-3051
東関東営業所	〒300-0811	茨城県土浦市上高津915-1	TEL (029) 835-7322
千葉営業所	〒284-0001	千葉県四街道市大日1870-1	TEL (043) 422-7400
群馬営業所	〒370-0031	群馬県高崎市上大類町412	TEL (027) 353-7075
長野営業所	〒399-0033	長野県松本市笹賀8155	TEL (0263) 26-4377
新潟営業所	〒955-0081	新潟県三条市東裏館2-14-28	TEL (0256) 34-2112
名古屋支店	〒462-0819	愛知県名古屋市中区平安2-4-87	TEL (052) 918-8619
静岡営業所	〒420-0067	静岡県静岡市葵区幸町29-1	TEL (054) 205-3535
大阪支店	〒553-0004	大阪府大阪市福島区玉川11-3-18	TEL (06) 6444-2031
神戸営業所	〒650-0017	兵庫県神戸市中央区楠町6-2-4ハーバースカイビル1F	TEL (078) 367-1580
京滋営業所	〒612-8414	京都府京都市伏見区竹田段川原町195	TEL (075) 645-5061
広島支店	〒733-0035	広島県広島市西区南観音7-11-24	TEL (082) 291-6331
福岡支店	〒812-0006	福岡県福岡市博多区上牟田1丁目5-1	TEL (092) 411-5416
南九州営業所	〒891-0115	鹿児島県鹿児島市東開町3-24	TEL (099) 269-5347
東日本受注センター	〒370-0031	群馬県高崎市上大類町412	TEL (0120) 166-199
西日本受注センター	〒553-0004	大阪府大阪市福島区玉川11-3-18	TEL (0120) 113-850
埼玉マックス(株)	〒331-0823	埼玉県さいたま市北区日進町3-421	TEL (048) 651-5341
横浜マックス(株)	〒241-0822	神奈川県横浜市旭区さちが丘7-6	TEL (045) 364-5661
金沢マックス(株)	〒921-8061	石川県金沢市森戸2-15	TEL (076) 240-1871
岡山マックス(株)	〒700-0971	岡山県岡山市北区野田3-23-28	TEL (086) 246-9516
四国マックス(株)	〒761-8056	香川県高松市上天神町761-3	TEL (087) 866-5599
四国マックス(株)松山駐在所	〒790-0036	愛媛県松山市小栗6-1-22第1白石ビル1F	TEL (089) 913-1893

●マックスエンジニアリングサービス(株)

札幌サービスステーション	〒060-0041	北海道札幌市中央区大通東6-12-8	TEL (011) 231-6487
仙台サービスステーション	〒984-0002	宮城県仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL (022) 237-0778
新潟サービスステーション	〒955-0081	新潟県三条市東裏館2-14-28	TEL (0256) 35-7252
高崎サービスステーション	〒370-0031	群馬県高崎市上大類町412	TEL (027) 350-7820
埼玉サービスステーション	〒331-0823	埼玉県さいたま市北区日進町3-421	TEL (048) 667-6448
名古屋サービスステーション	〒462-0819	愛知県名古屋市中区平安2-4-87	TEL (052) 918-8624
京都サービスステーション	〒612-8414	京都府京都市伏見区竹田段川原町195	TEL (075) 645-5062
大阪サービスステーション	〒553-0004	大阪府大阪市福島区玉川11-3-18	TEL (06) 6446-0815
広島サービスステーション	〒733-0035	広島県広島市西区南観音7-11-24	TEL (082) 291-5670
福岡サービスステーション	〒812-0006	福岡県福岡市博多区上牟田1丁目5-1	TEL (092) 451-6430
東京事業所	〒103-0015	東京都中央区日本橋箱崎町6-2	TEL (03) 5623-4611

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

4100538
160729-00/00

便利メモ

お名前				商品名 CN-332M1
お買い上げ日	年	月	日	製造番号
販売店名				☎